

令和6年度 国臨協関信支部ホームページ挨拶

国臨協関信支部長 吉田 茂久

平素より国臨協関信支部の活動につきましてご協力いただき感謝申し上げます。さて、先に開催されました第52回定期総会に於きまして令和6年度新役員が承認され、支部長を拝命しました吉田茂久（NHO 横浜医療センター）でございます、新役員を代表してご挨拶を申し上げます。

今期は新役員に副支部長1名、理事5名、監事1名、特任理事1名を加えた17名に、相談役 熊谷 豊 氏（NHO 関東信越グループ医療担当臨床検査専門職）を迎えて、総勢18名で支部長（総括）を中心として役員が事務局、学術部、広報部に分かれ研修会や学会関連、広報活動（支部ニュース等）を実施してまいります。

今年度の新事業は、(1) 新型コロナウイルス感染症等の感染状況を鑑みつつ、感染予防対策を講じながら対面・集合型での会員交流活動を再開します。まず手始めに支部主催の「ビアパーティー」を気象庁の梅雨明け宣言を待って7月末から8月初旬に開催いたします。会場は東京23区内となりますが、多くの皆様方にご参加いただければと思います。(2) 学術面では第52回国臨協関信支部学会を国立がん研究センター中央病院のご協力を得て、対面・集合型でテーマ「PRIDE ～ 必要とされる検査技師へ～」と題して開催いたします。ここ数年は一般演題登録数が30演題を下回っています。その原因としては、コロナパンデミックの影響も大きかったと思いますが、それ以外に専門分野の学会に演題を出す傾向が強くなったことや働き方改革の影響などで業務負担が増え、日常業務をこなすだけで疲弊してしまったり、時間外労働が認められず「自己研鑽」となるため少なからずモチベーションが上がらないことなども要因にあったのではと考えられますが、学会における一般演題発表は学問の進歩に欠かせないものであり、研究発表場として重要な役割を果たすものであることは論を俟たないことです。是非とも一般演題登録にご協力お願いいたします。あわせて、5年ぶりの対面・集合型での開催となります。多くの会員の皆様方に足をお運びいただき旧友との久しぶりの再会や新たな仲間（新人職員）との交流の場としてご活用いただければ幸いです。(3) 支部ホームページ管理の外部委託化を行います。専門的なコンサルテーションを享受することが可能となり利便性の高いコンテンツ等を積極的に導入しリニューアルを進めてまいります。あわせて、支部役員の業務負担を軽減し恒久的な運営を続けてまいります。費用面では負担が増えますがご理解を賜りますようお願いいたします。

継続事業としては、(1) Web 会議システム（ZOOM Pro ウェビナー）の契約内容の見直しを行い経費の節減を図りながら継続して採用することで、支部・地区会運営や学術研修会（ライブ配信・オンデマンド配信）などに活用を促進します。コロナ禍の中で我々が手にした新たなツール（Web 会議システム）を最大限利用して、遠方の会員の皆様方やご家庭を持つ会員の皆様方に場所と時間を気にせず研修や交流の場を提供できるように努めてまい

ります。回数は減少しますが是非ご利用くださいますようお願いいたします。(2) 広報活動では支部ニュース（紙面発行）の発行回数を年 2 回に変更し、役員の業務負担の軽減化と経費の節減を図りホームページ外部委託化による費用面での負担増加の軽減に努めてまいります。紙面発行回数は減少しますが代わりに電子版（PDF ファイル）を作成し支部ホームページと連携し情報提供に努めてまいります。また、QR コードを携帯端末でご利用いただくと支部ホームページとリンクしてご利用が可能となります。ぜひご活用ください。

最後に令和 6 年度も地区会、国臨協本部、技師長協議会、NHO 関東信越グループ医療担当臨床検査専門職、国臨協 OB 会と協力し、会員の皆様方からの声を真摯に受け止めて一歩一歩着実に支部活動を進めてまいります。今後も変わらぬ暖かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。